

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公表番号】特表2002-510643(P2002-510643A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願2000-542029(P2000-542029)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

C 0 7 K 14/525 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 43/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 15/00 C

C 0 7 K 14/525

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ヒト対象における確立された狼瘡疾患を後退させるための治療処置用の医薬製造のための可溶性CD40CRリガンドの使用であって、製造に用いた可溶性CD40CRリガンドが、

(a) 抗-gp39抗体もしくはそのフラグメント；または

(b) CD40CRに結合できる一部分のCD40を含む融合蛋白質を含む該使用。

【請求項2】 該治療処置が、さらに腎炎を低下させることを含む請求項1記載の使用。

【請求項3】 該治療処置が、さらに腎疾患を後退させることを含む請求項2記載の使用。

【請求項4】 医薬における該抗体もしくはフラグメントの量が、 $10\mu\text{g}/\text{ml}$ ないし $1000\mu\text{g}/\text{ml}$ の範囲にある請求項1～3いずれか1記載の使用。

【請求項 5】 該対象が、腎損傷によって示される狼瘡の進んだステージにある請求項 1 ～ 4 いずれか 1 記載の使用。

【請求項 6】 該融合蛋白質が、C D 4 0 - I g である請求項 1 ～ 5 いずれか 1 記載の使用。

【請求項 7】 該医薬が、抗 - D N A 抗体産生をブロックしない請求項 1 ～ 6 いずれか 1 記載の使用。

【請求項 8】 該医薬が、T N F - α の産生も増加させるためのものである請求項 1 ～ 7 いずれか 1 記載の使用。